

WEEKLY SIGNAL

2020年7月3日(金) 1531号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	7/6(月)	7/7(火)	7/8(水)	7/9(木)	7/10(金)
無担保O/N			△ 0.087% ~ 0.001%		
銀行券	△ 100	トシ	トシ	△ 1,000	△ 1,000
財政他	△ 34,400	+ 3,000	△ 7,000	+ 2,000	△ 31,000
資金需給	△ 34,500	+ 3,000	△ 7,000	+ 1,000	△ 32,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)		国債発行(30年)		国債発行(5年) 国庫短期証券発行・償還(6M)
オペ期日					米ドル資金供給用担保国債供給 + 21,100
オペスタート	国債買入 + 9,200 ETF買入 + 1,000				
(日本)			貿易収支(5月)	日銀支店長会議、黒田総裁挨拶 地域経済報告(7月)	国内企業物価指数(6月)
(海外)	米 ISM非製造業総合景況指数(6月) ユーロ圏 小売売上高(5月)	米 求人件数(5月)		米 新規失業保険申請件数(4日終了週) 米 卸売在庫(5月) ユーロ圏財務相会合(ユーログループ)	米 PPI(6月)

<インターバンク市場>

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.030 ~ 0.030
SPOT 2M	△0.020 ~ 0.040
SPOT 3M	0.000 ~ 0.070
SPOT 6M	0.000 ~ 0.130

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初444兆8,500億円から始まり、30日には財投機関への貸付を主因に447兆円台まで増加した。その後は国債発行や税保険揚げなどの財政等要因から同残高はやや減少し、445兆4,000億円を越えた。
無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.041%から始まった。翌日、四半期末にあたる30日には調達を控える金融機関が散見され、△0.068%に低下した。7月に入ると四半期末要因が剥落したことから邦銀のビッドが増加し、堅調な地合に戻ったため、同金利は△0.041%~△0.034%のレンジで推移した。
ターム物は主に7月スタートの1~2Wの期間で△0.06%~△0.05%の出合が見られた。
日本銀行が1日に発表した6月の全国企業短期観測調査(短観)において、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数(DI)は-34と、2009年6月調査以来11年ぶりの低水準となった。
来週の主な予定として国内では、9日に日銀支店長会議・地域経済報告の公表、海外では、9日に米新規失業保険申請件数(7月4日終了週)の公表がある。

<オープン市場>

CP3M(a-1+)	△0.01 ~ 0.01
TDB 3M	△0.120 ~ △0.075
現先(on/1w)	△0.04 ~ 0.00

<C P>

今週の入札発行総額は約1兆200億円で、週間償還額(約3,700億円)を大幅に上回った。四半期末明けの発行再開から、卸売業や鉄鋼業等の大型案件が連日オフアールされ活況となった。6月末の市場残高は23兆5,940億円と前月比△6,940億円減少したが、前年同月比では+5兆1,340億円と40カ月連続して増加となり、市場残高は高水準で推移している。発行レートは、浅いマイナスから0%近辺での出合いが中心であった。
来週の週間償還額は、約4,600億円となっている。引き続き、決算明けの発行再開から取引は活況が見込まれる。発行レートは、浅いマイナスから0%近辺の横ばい圏内の出合いを予想するが、発行量の多い銘柄では0%から若干プラスレートでの発行が見込まれる。

<TDB>

7月3日の3M919回債(10/5償還)の入札は、最高落札利回り△0.0882%(同△0.0902%)、平均落札利回り△0.0962%(同△0.0946%)となり、入札後△0.105%~△0.108%のレンジで出合が見られた。そのほかゼカンタリーでは3M917回債(9/23償還)は△0.085%~△0.095%、同918回債(9/28償還)は△0.08%~△0.094%のレンジで取引された。

<レポ>

足許GC取引は、週初は四半期末越えの取引であったが、△0.095%~△0.06%の出合い。その後、週後半にかけても△0.09%~△0.08%近辺で推移した。短国3Mの発行日となる6日受渡しの取引は△0.075%~△0.06%近辺の出合いとなった。
SC取引は2年409~413回債、5年137~143回債、10年332~358回債、20年169~172回債、30年59~66回債、40年12回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。